

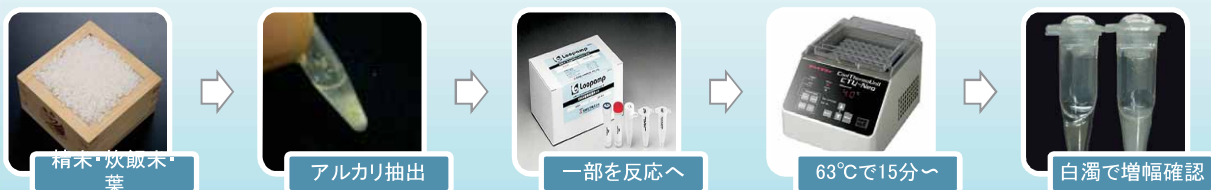
30分でお米の品種を見分ける技術 —LAMP法による簡易迅速品種判別—

技術の特徴

①最短30分で、②特殊な機器なしに、③低コストに、④1%の混入からでも、お米の品種を判別することが可能

研究の内容

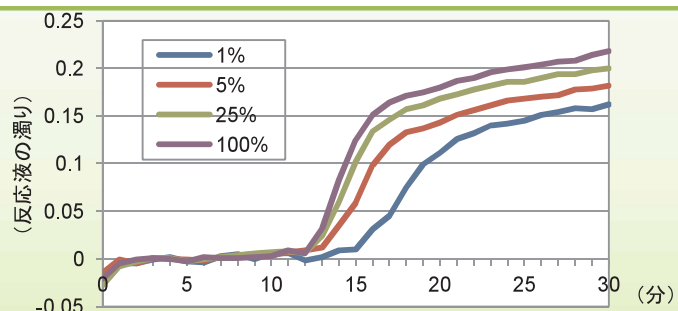
30分の簡易判定：極簡易DNA抽出（10分）＋LAMP検出（20分）



微量からの混入検出も可能

コシヒカリ以外の品種を検出するプライマーを用いてコシヒカリへのひとめぼれの混入を検出した例。

5%→コシ95%、ひとめぼれ5%
100%→ひとめぼれ100%



想定される利用場面：『すぐに』『その場で』



種苗管理に



圃場で



米穀検査で



店頭で



製造ラインで

今後の展開

- ・コシヒカリの簡易判別キットを発売予定
- ・他品種、他用途の簡易判別技術も順次開発予定

参 考

岸根・奥西、日本食品科学工学会誌、58(12)、591-596 (2011)

LAMP法については、栄研化学のHP (<http://loopamp.eiken.co.jp/lamp/>) を参照ください



農研機構
食品総合研究所



代表研究者： 岸根 雅宏
所 属： 食品素材科学研究領域
穀類利用ユニット

問合わせ先： 029-838-8045 kishine@affrc.go.jp